

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ
「IMAGINE ROTARY」

大分東RCスローガン
「ENGAGE」
IMAGINE ROTARY

OITA EASTJAPAN SINCE 1963
60th anniversary

画「モロッコ旅情」
久保南海代

ガバナー 堀川 貴史
会長 菅 雅幸
幹事 安藤 暢啓

2022-2023 第6回 例会 2022.8.25 No.2752

本日のプログラム（8月25日）

◎12:30

1. 開会並びに点鐘
2. ロータリーソング斉唱「四つのテスト」
会食
3. ゲスト・ビジターの紹介 菅 雅幸 会長
4. 会長の時間 菅 雅幸 会長
5. 幹事報告 安藤 暢啓 幹事
6. 出席報告 川崎 栄一 出席委員長
7. 委員会報告
8. ニコボックス
9. 今週のお祝い
<パートナー誕生日>
菅 雅幸会員 廣美夫人 8月28日

◎13:00

10. 例会企画
高見大介様（日本文理大学 人間力育成センター長）
「9月開催の地区補助金プロジェクトについて」
佐藤佳都会員「創立60周年について」

第5回（8月18日）例会記録

長谷部 孝行 様（大分県全国育樹祭推進室室長）
「第45回 全国育樹祭について」

・出席報告

会員 総数 36名 (免除 会員 8名)	8月18日（先週）				7月28日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	25名	83.33%	1名	0名	93.33%

次週の例会（第7回9月1日）

由見真治朗会員の卓話
「100キロウオークの話」

会長の時間（令和4年8月18日）

前回の熊野会員のお話で呉の事を話されてましたので、私も語らせてください。30年前の話ですが石川島播磨重工業の工場見学をする事になり、その時の思い出話です。一つは本四架橋の橋梁製作にあたり、要求誤差が2ミリ以内にするように指示があり、大変であったことの苦労話を聞きました。一般的に建築施工精度は100分の1以内であればよいとされています。単純に100mの高さのビルだと1m位ズレていたとしても許容範囲であるという事です。今思うと、プロジェクトXのテーマ曲、中島みゆきの「地上の星」が流れるような情景でした。もう一つは「戦艦大和」の造船ドックに近づけたことです。1万5千トンのコンテナ船が1隻と半分造られていました。とても良く覚えています。平成5年に造船ドックは埋め立てられ、修理用のドックは残って使われているそうです。空母「信濃」の横須賀ドックも残っていますが、一番艦「大和」のドックは国の産業遺産として残すべきだと思います。勝海舟が始めた海軍伝習所の最後の到達点だったとも言えます。見学案内をしてくださった方から聞いた話ですが、終戦直後、実家では機関銃を何やら味噌桶に隠

会長 菅 雅幸

していたと話されていました。呉といえば、所得倍増計画を掲げた宏池会のもと池田勇人の地元です。岸田首相の所得増加という目標は、私には少しダブって見えるのですが、考えすぎでしょうか。

本日は育樹祭のお話をさせていただくことにかこつけて、話しますが、我が家は高校を始める前は、じいさんが製材業をやっている、母が言うには、資産として山を多く持つことを進めていたようです。大量の戦時国債が紙くずとなり、終戦後の荒廃した山を見てそう思ったそうです。ですから、私達が相続したものは、山林がほとんどで、不動産の価値はかなり低いので、あまりありがたくないと思っています。今年になって、森林組合から保安林の買取の話がありました。私が相続した山が保安林だという事が初めてわかりました。山も一緒に売ろうと思っていたのですが、母の言っていた事を思い出し、子供たちに山の大切さを伝えていくことも大事だと思い、わかってもらえるかどうかわかりませんが、50年後、ひょっこり伐採の話が息子のもとに届いたとき、何か感じるであろうことを期待しています。

日本文理大学×香々地青少年の家×ロータリークラブ 心をついにプロジェクト（仮称）宿泊キャンプ

背景

世界に蔓延する新型コロナウイルスの猛威は、子どもたちの生活をも大きく変容させている。遠隔授業の実施、課外活動や集団宿泊行事等の中止も相次いでいる。そこで、日本文理大学・香々地青少年の家・大分東ロータリークラブの三者が協力し、子どもたちの成長にとって重要な望ましい集団行動と体験活動、そして異世代間の交流の場を提供する。

◇プロジェクトの目的

コロナ禍で体験活動の場が激減している小学生に対して体験活動の場を提供する。また企画立案者の主体を地元大学の学生とし、子どもへの満足度を高める事を狙うとともに青少年施設の専門家の教育的アドバイスで効果の高い者とする。更には企画する大学生の学びを将来有意義なものであると確信させるためにロータリアンをメンターとして配置し、常に激励することにより持続可能で三世代参画の子ども支援活動に成長させる。

◇今年度の参加者

小学生：20名 大学生：10名 大学職員：2名
RC会員：10名

※1班（大学生2名+小学生4名）×5班を想定

◇プロジェクトの効果（学びの対象）

・体験活動の場が少なくなった小学生・他者の為に活動する事の喜びを実践できる大学生

・地域の子どもたちのコロナ禍におけるニーズや大学生の現状を実感できるロータリアン

◇現状の課題

非接触時代での子どもたちの心を育てる取り組みが必要
体験活動の少ない子どもたちへの学びの場の提供
コロナ禍での家族の収入減により体験教育への参加負担の軽減

◇課題解決方法

感染防止対策を万全にした活動で安心感のある取り組みにする
大学生が活動の主体となり地域社会のナナメの関係を構築する
県立青少年の家の活用で県内全域の子どもを対象とする
公共施設利用で費用を抑え、ノウハウを活用する

◇具体的な活動

香々地青少年の家でのネイチャー教室（自然観察）自然への畏敬
野外炊事（カレー作り）仲間との協働
創作活動（焼き板づくり）探求心
星空観察（プラネタリウム・実際の空）探求心2
感染防止対策講座（手洗い・うがい・マスクの着用等）コロナ禍での教育

- 9月のプログラム 9月8日(木) 佐藤純也会員の卓話
9月15日(木) 橋本譲治氏(大分県研究会代表理事)の卓話

卓話の時間(8月18日)



第45回全国育樹祭について

大分県農林水産部 全国育樹祭推進室長 長谷部孝行 様

まず、大分県の森林・林業の現状と主な取組について説明します。

大分県の森林面積は県土の71%を占めており、林業は全国的に見ても産出額や木材生産量で上位に位置しています。特にスギや乾しいたけ、マダケの生産量はトップクラスで「森林・林業県おおいた」と言っても過言ではありません。こうした中、本県の森林づくりは、木材生産等の機能を重視する「生産林」と公益的機能を重視する「環境林」に区分し、その目的に応じた森林整備をしています。近年では、豪雨災害の激甚化に伴い、流木等による被害の軽減を図るため、尾根や河川沿いの針葉樹を伐採し広葉樹林にする「災害に強い森林づくり」を積極的に推進しています。

一方で林業を支える担い手の減少が課題となっています。そこで「林業アカデミー」や「しいたけ版ファーマーズスクール」、「機械化」など就業者の支援対策にも取り組んでいます。また、木材の利活用にも力を入れており、住宅以外の公共施設などでも多くの県産材が使われるようになってきました。多くの皆さんが木材を使っていただくことは「伐って使い、植えて育てる」といった森林資源の循環利用につながります。更に、小中学校での森林・林業教育を充実させることで、次代の森林づくりを担う人材を育成しています。

こうした中、今回、本県で2度目となる第45回全国育樹祭が11月に開催されます。全国育樹祭は昭和52年に大分県から始まった行事です。当時は、間伐などの人工林の手入れが重要な時代で、全国植樹祭で天皇陛下が植えられ成長した木を、後年の全国育樹祭の際に皇太子が手入れをされることで、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発する行事として、毎

年各県持ち回りで開催されるようになりました。今回の大会では、「森林資源の循環利用」、「次代につながる森づくり」「森林・林業県おおいたのPR」を3つのコンセプトに大会を開催します。また、大会を契機として子どもたちに森林・林業に関心を持ってもらい、担い支える人材へと育成するとともに、資源循環型の森林づくりの環を県民総参加で広げる取組を進めています。

大会は「豊かなおおいた森林を育み木と暮らし」をテーマとし、11月12日~14日にかけて様々な行事を開催します。「式典行事」などの参加募集は終わりましたが、「育林交流集会」や「森林フェス」などは参加が可能ですので、是非一度全国育樹祭のホームページをご覧ください、多くのイベントに積極的なご参加をいただきたいと思います。本大会を通じて皆様方と大分の未来の森林づくりについて考えていければ幸いです。



2022～2023年 大分東ロータリークラブ組織

《理事会構成メンバー》

役員	役職	氏名	役員	役職	氏名
	会長	菅 雅幸		会員増強・職業分類・会員選考委員長	森 嘉隆
役員	副会長（管理運営総括）	前田 修二	職業奉仕委員長	松本 定重	
	直前会長（奉仕運営総括）	瀬口 清文	社会奉仕・環境委員長	佐藤 佳郁	
	幹事	安藤 暢啓	青少年奉仕委員長	阿部 克哉	
	SAA	川崎 栄一	国際奉仕・米山奨学会委員長	小嶋 一範	
	会計	城内 和敏	ロータリー財団委員長	佐藤 泰則	
理事	広報・公共イメージ委員長	由見 真治朗	クラブ研修リーダー （理事会オブザーバー）	阿部 克哉	
	親睦活動委員長	木許 一夫	副幹事（理事会オブザーバー）	高尾 真之	
	プログラム委員長	園田 浩二郎			

会計監査

佐藤 純也

委員会	委員長	副委員長	委員
管理運営総括	前田 修二		
SAA・出席	川崎 栄一	佐藤 純也	
広報・公共イメージ	由見 真治朗	野田 直宏	松本 定重
親睦活動	木許 一夫	大西 章泰	岩崎 哲朗・城内 和敏・高尾 真之・木暮 賢児 服部 剛・柳原 達也・柏木 義孝・熊野 秀樹・ 原野 尚
プログラム	園田 浩二郎	那賀 圭介	角山 光邦
会員増強・職業分類・会員選考	森 嘉隆	佐藤 佳郁	全会員
奉仕活動総括	瀬口 清文		
職業奉仕	松本 定重	幾留 秀樹	平岩 禎一郎・織部 和宏
社会奉仕	佐藤 佳郁	岡村 邦彦	柏木 義孝
青少年奉仕	阿部 克哉	木暮 賢児	前田 修二・佐藤 宝恵
国際奉仕・米山記念奨学会	小嶋 一範	竹内 崇	
ロータリー財団	佐藤 泰則	三島 麻衣	挟間 直己

地区委員	委員会・役職	氏名
	国際奉仕委員会委員長	小嶋 一範
	インターアクト委員会委員長	阿部 克哉
	公共イメージ委員会委員	松本 定重

名誉会員	氏名
	二宮 吉男
	西島 世晃
	河野 浩

(出席免除会員) R歴+年齢が85以上	氏名
	平岩・織部・挟間・ 角山・岩崎・岡村

創立60周年実行委員会委員長	氏名
	佐藤 佳郁

ロータリーソング 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創 立 昭和38年3月6日

例 会 日 木曜日・12時30分

例 会 場 トキハ会館4F「つばきの間」

会 長 菅 雅幸

幹 事 安藤 暢啓

事 務 所 〒870-0021

大分市府内町1-2-15

(トキハ会館4F)

TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>

メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp